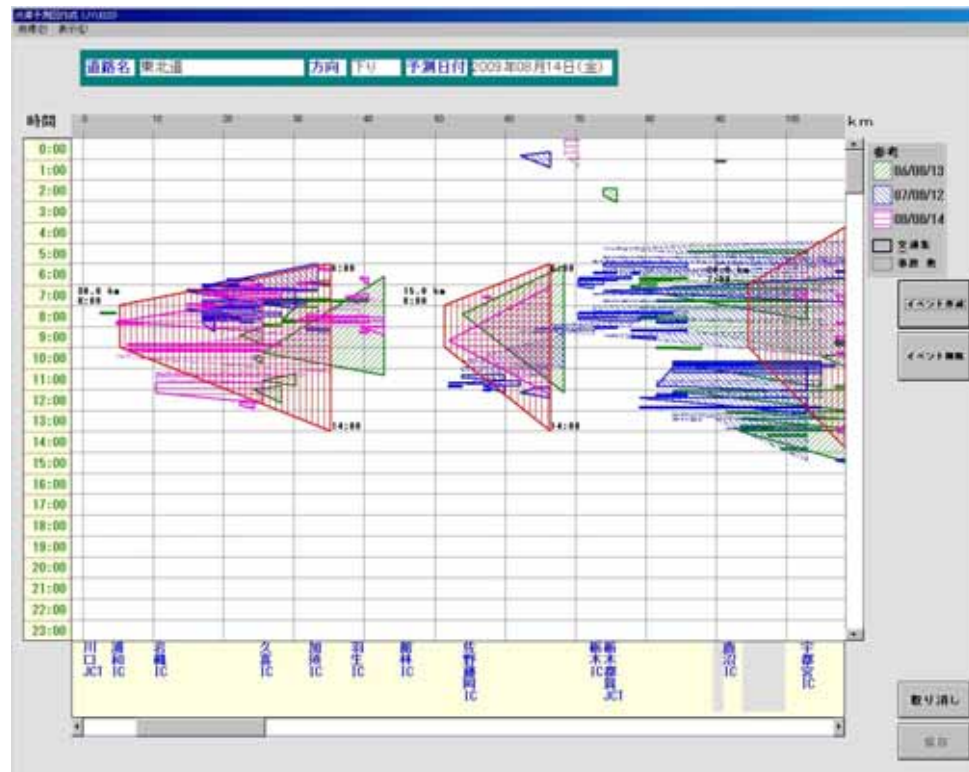


【別紙9】 渋滞予測手法

1. 過去実績をもとに今年の渋滞予測を作成

- 過去3年間の渋滞実績データをもとに、曜日配列、特異事象（過去の大きな事故や異常気象など）の影響、イベント等の開催状況、ネットワーク整備状況などを考慮し、今年の渋滞予測図（下図赤色）を作成



2. 休日特別割引などの影響を加味した渋滞予測へ補正

- 交通量と各渋滞指標（渋滞時間・渋滞長・渋滞回数）の関係から、ゴールデンウィークで確認された交通量の増加実績を踏まえ、上記1で算出した渋滞予測の渋滞時間・渋滞延長・渋滞回数を補正

3. 渋滞実績の無い箇所の渋滞予測を追加

- 地方部などの渋滞実績データの無い箇所について、今年のゴールデンウィークの渋滞状況を参考に、交通量の増加見込みと交通容量の関係から、必要に応じて渋滞予測を追加

（ご注意）

今年のお盆時期については、休日特別割引による影響として、ゴールデンウィークで確認された交通量の増加実績を踏まえ渋滞予測をしておりますが、ご利用動向が例年と異なることが予想され、例年は渋滞が発生しない箇所でも渋滞が発生する場合があります。また、事故や天候の影響などによっても渋滞状況は大きく変わりますので、出発前に最新の道路交通情報をご確認下さい。